



2023年3月1日

AlphaNavi Pharma 株式会社への追加投資について

京都大学イノベーションキャピタル株式会社（以下、「京都 iCAP」）（本社：京都市左京区、代表取締役：楠美公）を無限責任組合員とする「イノベーション京都 2016 投資事業有限責任組合」（以下「KYOTO-iCAP1 号ファンド」）は、AlphaNavi Pharma 株式会社（以下、「AlphaNavi」）（本社：大阪府吹田市、代表取締役：小山田義博）への第三者割当増資を実施したことをお知らせします。

○今回の投資の概要

AlphaNavi は、治療抵抗性の疼痛疾患に対する非オピオイド系鎮痛薬を社会に届ける事を目標に 2019 年 1 月に創業したバイオベンチャー企業です。AlphaNavi は、住友ファーマ株式会社（旧 大日本住友製薬株式会社）から選択的な電位依存性ナトリウムチャンネル Nav1.7、Nav1.8 及び Nav1.9 阻害剤である ANP-230 の製造・開発・販売権のライセンスを受けています。ANP-230 はすでに米国・英国・日本において複数の第 1 相試験を完了しており、現在、国内において小児四肢疼痛発作症を対象とした第 1/2 相試験を実施しています。

小児四肢疼痛発作症は、四肢や手足の関節に疼痛発作が起こる一方で、疼痛発作以外の異常所見が認められないのが特徴で、既存の疼痛薬にて疼痛マネジメントが困難な疾患です。また、この疼痛発作に苦しんでおられる患者の多くからナトリウムチャンネル Nav1.9 の遺伝子 *SCN11A* の機能獲得型変異が見つかっていると報告されています。AlphaNavi は今回の資金調達により、本臨床試験と事業開発を推進させる考えです。

京都 iCAP は、既存薬では効果が不十分な疼痛患者さんに一日でも早く新規治療薬を届けたいという AlphaNavi の経営理念と同社のパイプラインのポテンシャルを高く評価し、約 2.1 億円の追加投資を実施しました。AlphaNavi が実施した総額約 6.1 億円のラウンド B 第三者割当増資には、投資家連合として京都 iCAP、新生キャピタルパートナーズ株式会社、住友ファーマ株式会社、SMBC ベンチャーキャピタル株式会社、日本ベンチャーキャピタル株式会社、中信ベンチャーキャピタル株式会社が参加しています。

以上



○AlphaNavi Pharma 株式会社について

設立	2019年1月
事業内容	非オピオイド系鎮痛薬である電位依存性ナトリウムチャンネル阻害剤の研究開発
本社所在地	大阪府吹田市江の木町 33-94
代表取締役	小山田 義博

○京都大学イノベーションキャピタル株式会社（京都 iCAP）について

京都 iCAP は、京都大学 100%出資子会社として、京都大学を中心とした国立大学から生まれた研究成果を活用する企業を対象に投資やその他の事業支援を行っております。当社は現在、総額 160 億円のイノベーション京都 2016 投資事業有限責任組合（以下「KYOTO-iCAP1 号ファンド」）（2016 年 1 月設立）と総額 181 億円の KYOTO-iCAP2 号ファンド（2021 年 1 月設立）を運営しています。KYOTO-iCAP 1 号ファンドの満期は最長 20 年、KYOTO-iCAP 2 号ファンドの満期は最長 17 年に設定しており、基礎研究に強みを持つ京都大学の研究成果の実用化を長期にわたって支援することが可能となっています。また、KYOTO-iCAP 2 号ファンドでは、一部資金を京都大学以外の国立大学発ベンチャーに投資することとしています。

【お問い合わせ先】

京都大学イノベーションキャピタル株式会社
〒606-8317 京都市左京区吉田本町 36 番地 1
事業企画部長（広報担当）河野修己
TEL : 075-753-7588 FAX : 075-753-7592
E-mail : info@kyoto-unicap.co.jp